

— 懐かしい時代、愛しい情景、私の東京 —



大鷲神社祭礼, 1943(昭和18)年 福富太郎コレクション資料室蔵



「師走風俗帖」中央市場, 1958(昭和33)年 小杉放菴記念日光美術館蔵

平成25年

5月25日(土) — 7月7日(日)

開館時間 ▶ 午前9時—午後5時(月曜日休館)

主 催 ▶ 豊橋市美術博物館・中日新聞社

企画協力 ▶ 一般社団法人春陽会

観 覧 料 ▶ 一般・大学生=700(600)円

小・中・高生=300(200)円

8
Special Day

荘八にちなみ、8のつく日は()内の割引料金でご入場できます!

※()内は前売及び20名以上の団体料金
※前売券は、豊橋市美術博物館・豊橋市二川宿本陣資料館・豊橋市役所じょうほうひろば・チケットぴあ・サークルKサンクス・セブンイレブンで5月24日まで販売します(Pコード=765-694)



※「豊橋市敬老バッジ・シルバー優待カード」「身体障害者手帳」「療育手帳」「精神障害者保健福祉手帳」のいずれかをお持ちの方は入場料が無料となります

※「ほの国こどもパスポート」で東三河地域在住または在学の小中学生は無料になります

生誕
120年

木村荘八展

KIMURA SHOHACHI
The 120th Anniversary of His Birth

豊橋市美術博物館
TOYOHASHI CITY MUSEUM OF ART & HISTORY



自宅での木村荘八 1949(昭和24)年頃 撮影:林忠彦



壺を持つ女 1915(大正4)年 愛知県美術館蔵



畑:雑司が谷 1913(大正2)年 横須賀美術館蔵



牛肉店板場 1932(昭和7)年 公益財団法人北野美術館蔵

『溼東綺譚』『東京繁昌記』は前期(5月25日-6月16日)と後期(6月18日-7月7日)で入れ替えて展示をいたします。



豊橋市美術博物館

TOYOHASHI CITY MUSEUM OF ART & HISTORY

〒440-0801 愛知県豊橋市今橋町3-1(豊橋公園内)
TEL.(0532)51-2882 FAX.(0532)56-2123
http://www.toyohaku.gr.jp/bihaku/

【交通案内】JR・名鉄「豊橋」駅前より市電乗車「豊橋公園前」下車徒歩3分

生誕
120年

木村荘八展

KIMURA SHOHACHI

The 120th Anniversary of His Birth

明治26(1893)年、東京・日本橋に牛肉店「いろは」を営む実業家・木村莊平の八男として生まれた木村荘八(きむら・しょうはち)は、移りゆく東京の情景を大正から昭和にかけて情緒豊かに描き出し、多彩な活動を展開した洋画家として知られています。中学卒業の頃から家業を手伝う一方で文学や美術に憧れを抱き、白馬会葵橋洋画研究所で出会った岸田劉生らとともにフェウザン会を結成しますが、同時に欧州の美術思潮を積極的に翻訳紹介するなど、大正期の革新的な美術運動に深く関わりました。

当初は劉生とともにゴッホやセザンヌなどの影響がうかがえる作品を表しましたが、大正4(1915)年に結成した草土社では写実的な傾向を示すようになり、やがて大正末期になると春陽会に拠点を移して、よりのびやかで自由な表現を追求するようになります。その視点は芝居や浄瑠璃などの文芸描写、ダンスホール、緑日風景など昭和初期の風俗に注がれ、洒脱なタッチで数多くの作品を残したほか、永井荷風『溼東綺譚』、大佛次郎『霧笛』等の挿絵の分野でも人気を博しました。

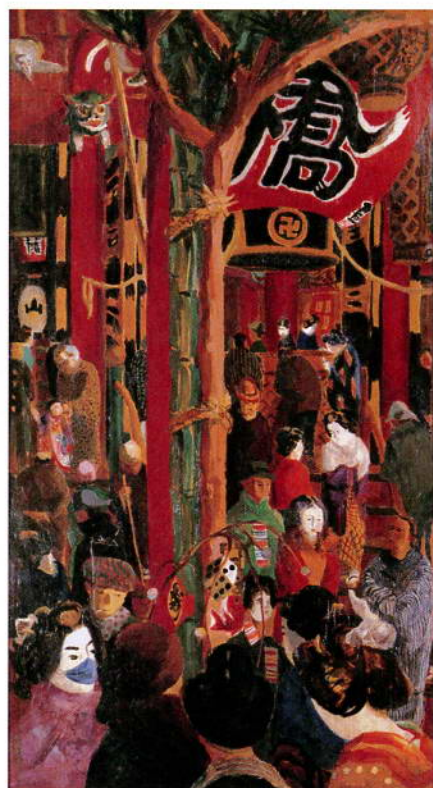
西欧の美術を知悉するグローバルな視野を持ちながらも、愛惜を込めて移り変わる東京の風景を絵画や著作に描きとどめ、

晩年に著した『東京繁昌記』(没後刊行)では日本芸術院恩賜賞を受賞しています。また、歌舞伎の舞台美術や映画の美術考証にもたずさわり、小唄の師匠としての顔も有するなど、多分野で活躍した文化人でした。

本展では油彩画の代表作や挿絵原画を中心に、生誕120年を記念して「生粋の東京人」木村荘八の多彩な足跡をあらためて回顧いたします。また、あわせて草土社同人の作品も展覧することにより、多角的に荘八の姿を浮き彫りにしたいと思います。

荘八の目を通して活写された懐かしき東京の情景をぜひご覧下さい。

記念講演会	「木村荘八ーわたしは東京を呼吸して生きてゐる」 田中 淳(東京文化財研究所企画情報部長) 6月1日(土) 午後2時～ 講義室	Special Day [8]のつく日は スペシャルデー! 「いろは」第8号支店にて8男として生まれた荘八にちなみ、8のつく日は割引料金でご入場できます!
美術講座	「木村荘八ーフェウザン会・草土社から春陽会まで」 金原 宏行(豊橋市美術博物館長) 6月16日(日) 午後2時～ 講義室	
[8]のつく日 ギャラリー トーク	担当学芸員による会場での作品解説(いずれも午後2時～) 5月28日(火)/6月8日(土) 6月18日(火)/6月28日(金)	



浅草寺の春 1936(昭和11)年 公益財団法人北野美術館蔵



永井荷風著『溼東綺譚』挿絵08 1937(昭和12)年 東京国立近代美術館蔵(前期展示)



『東京繁昌記』「東西南北」挿絵 1955(昭和30)年 小杉放電記念日光美術館蔵(後期展示)



『師走風俗帖』「問屋街」挿絵 1955(昭和30)年 小杉放電記念日光美術館蔵